

構成員：	教授	星野 敏
	講師	橋本 禅
	助教	九鬼 康彰
	大学院博士後期課程	2 名
	大学院修士課程	12 名
	専攻 4 回生	9 名

A. 研究活動（2009. 4～2010. 3）

A-1. 研究概要

a) ナレッジマネジメントを応用した農村計画論に関する研究

農地、里山、ため池などの地域資源は、長年にわたる管理活動の中で培われてきた管理者の暗黙知により維持されてきた。しかしそのような管理に関わる暗黙知が次世代に受け継がれないまま消散し、維持が困難となる事態が各地で起こりつつある。これらの対応策としてナレッジマネジメントの有効性に着目し、地域資源管理に必要な知識を維持継承していく方策を研究している。

b) ソーシャル・キャピタルと地域力の再生に関する研究

地域住民が相互に協力し合うことは、農山村地域の活性化を成功させる重要な要因の1つである。ソーシャル・キャピタル(SC)とは「人々の協調行動を活発にすることによって社会の効率性を改善できる、信頼、規範、ネットワークといった社会組織の特徴」と定義される概念である。中山間地域等直接支払制度や農地・水・環境保全向上対策等を取り上げ、SCと地域活性化の関連を検証するとともに、SCの視点から地域力の再生とそれを活かした活性化の方策を検討している。

c) 中山間地域における農業基盤と社会的構造からみた適切な獣害対策の検討

和歌山県を対象に、主にイノシシによる被害の発生と対策の状況を調べるとともに、農家及び非農家の獣害に対する意識と営農の現状・意向や農業との関わりとの関連性を明らかにし、今後獣害対策を展開するために必要な課題を検討する。また現場で実際にワークショップ等のプロセスを踏みながら適切な獣害対策を提案し、実施することによってその有効性を検証する。

d) 東アジア諸国におけるコミュニティ計画論の比較研究

本研究の目的は、東アジア諸国(日本、韓国、台湾、中国)のコミュニティ計画論の比較研究を通じて、その普遍的な枠組みを明らかにすることである。各国の農村コミュニティの特徴や社会開発の制度等の環境条件は大きく異なるが、このような異なる環境条件下において「環境条件と計画システムの相互関係」を明らかにし、それらを整序することにより、普遍的な計画技術を確立する。

A-2. 研究業績 (国内・国外含む)

a) 成果刊行

著 書

・藤田 壮, 橋本 禅: 第2部第3章「地域環境の評価手法の研究開発と展望」, 45-56, 浅野直人(編)「戦略的環境アセスメントのすべて」, ぎょうせい, 2009.

原著論文 (査読付)

・藤本 綾, 浅見淳之, 星野 敏: 農業公園職員の地域活性化への認識に違いとその波及効果—運営主体の異なる京都府の2つの事例より—, 農林業問題研究, 174, 120-126, 2009

・森本英嗣, 土井和之, 柚山義人, 仲上健一, 星野 敏: バイオマス総合利活用評価モデルの開発, 農業農村工学会誌, 77 巻 8 号, 631-634, 2009

・H. Morimoto, S. Hashimoto, S. Hoshino: Scenario Evaluation of Biomass Utilization in Suburban Agriculture and Livestock Industry, Proceeding of PAWEES 2009 International Conference on Promising Practices for The Development of Sustainable Paddy Fields, CD-R, 2009

・Hashimoto S, Fujita F, Geng Y and Nagasawa E. Realizing CO2 emission reduction through industrial symbiosis: A cement production case study for Kawasaki. Resour Conserv Recy, doi:10.1016/j.resconrec.2009.11.013

・橋本 禅, 若林 諒, 孫 穎, 陳 旭東, 藤田 壮, 耿 涌: 中国大連市の一般廃棄物管理施策を対象とした循環経済社会シナリオの設計と評価, 土木学会環境システム委員会環境システム研究論文集 Vol. 37, 301-309, 2009

・岸岡智也, 橋本 禅, 九鬼康彰, 星野 敏: 鳥獣害対策に向けたステイクホルダーコミュニケーションにおける市民団体の機能とその可能性—滋賀県におけるカワウ被害対策を事例として—, 環境情報科学論文集, 23 号, 465-470, 2009

・中塚雅也, 川口友子, 星野 敏: 地域自治組織の再編プロセスと支援手法—「場」の生成の視点から—, 農村計画学会誌, 28(3), 135-140, 2009

・武山絵美, 九鬼康彰: 効果的な獣害対策のための農地管理および基盤条件の検証, 農業農村工学会誌, 78(3), 15-18, 2010

- ・浅野悟史, 星野 敏, 九鬼康彰: NPO の継続に関わる財務・人材面の課題とその対策—京都府山城地方における里山保全団体を事例に一, 農村計画学会誌, 28 巻, 論文特集号, 225-230, 2010
- ・窪田和矢, 星野 敏, 九鬼康彰, 橋本 禅: 条例の制定過程における関係主体の役割と相互作用—篠山市自治基本条例を事例として—, 農村計画学会誌, 28 巻, 論文特集号, 291-296, 2010
- ・柴田善秀, 星野 敏, 九鬼康彰, 橋本 禅: 役員経験が住民の地域活性化意識に与える影響—滋賀県木之本町 S 地区を事例に一, 農村計画学会誌, 28 巻, 論文特集号, 369-374, 2010
- ・山下良平, 星野 敏, 九鬼康彰: 条件不利地域における内発的発展の要因と推進体制に関する研究—京都府舞鶴市杉山集落を事例として—, 農村計画学会誌, 28 巻, 論文特集号, 375-380, 2010
- ・中村省吾, 星野 敏, 九鬼康彰, 橋本 禅: 集落組織の経験と特性が農地・水・環境保全向上対策の実施に及ぼす影響—滋賀県「農村まるごと保全向上対策」実施 42 集落を対象とした調査をもとに一, 農村計画学会誌, 28 巻, 論文特集号, 381-386, 2010
- ・奥村啓史, 九鬼康彰, 武山絵美, 星野 敏: 水田農業集落における獣害対策改善効果の検証, 農村計画学会誌, 28 巻, 論文特集号, 393-398, 2010
- ・星野 敏, 王 雷: RURAL PLANNING METHODOLOGY CHARACTERIZED BY RURAL RESIDENT PARTICIPATION IN JAPAN, 城市規劃 (中国都市計画学会誌, CITY PLANNING REVIEW), 267, 54-60, 2010 (中国語)

総説

- ・星野 敏: 農地・水・環境保全向上対策と農村コミュニティの再生, 農業と経済, 75(7), 15-21, 2009
- ・土井和之・森本英嗣・柚山義人・仲上健一: 地域におけるバイオマス総合利活用シナリオの評価手法, 環境技術, 38(3), 45-50, 2009
- ・中村省吾: 研究動向; 農村地域計画 地域資源管理の担い手を巡る課題と展望, 農業と経済, 75(7), 128-131, 2009
- ・九鬼康彰: 視点をかえ、地域に応じた活用を (特集 進むか耕作放棄地の解消), AFC フォーラム, 57(3), 7-10, 2009
- ・九鬼康彰: 耕作放棄地はなぜ、どのようにして発生するのか, 増刊 現代農業, 80-87, (社) 農山漁村文化協会, 東京, 2009

報告書等

・橋本 禅，森本 英嗣：平成 21 年度国土政策関係研究支援事業研究成果報告書「バイオマスタウン構想策定自治体を核とする地域スケールでのバイオマス資源循環シナリオの設計と評価」，2010

b) 学会発表

- ・平成 21 年度農業農村工学会大会講演会（1 件）
- ・第 66 回農業農村工学会京都支部研究発表会（2 件）
- ・2009 年度農村計画学会秋期大会学術研究発表会（7 件）
- ・第 59 回地域農林経済学会大会（1 件）
- ・第 23 回環境研究発表会（1 件）

A-3. 国内における学会活動など

所属学会等（役割）

- ・星野 敏：農村計画学会（理事，国際交流委員長，学術交流委員）、地域農林経済学会（理事，編集委員）、(社)農業農村工学会（代議員，農村計画研究部会常任幹事，農業農村情報研究部会常任幹事）
- ・橋本 禅：農村計画学会（国際交流委員）
- ・九鬼 康彰：(社)農業農村工学会（農村計画研究部会常任幹事）、農村計画学会（評議員，国際交流委員，査読委員）

競争的資金等獲得状況

①科学研究費補助金

- ・基盤研究（B）：星野 敏：ナレッジマネジメントを応用した農村計画手法の開発
- ・挑戦的萌芽研究：星野 敏：東アジア諸国におけるコミュニティ計画論の比較研究

②その他の競争的資金

- ・平成 21 年度国土政策関係研究支援事業（国土交通省）：橋本 禅：バイオマスタウン構想策定自治体を核とする地域スケールでのバイオマス資源循環シナリオの設計と評価

A-4. 国際交流・海外活動

国際会議・研究集会等（国、役割）

- ・星野 敏：韓・日・米農村計画シンポジウム（韓国・会長代理）、農村計画国際シンポジウム（日本・オーガナイザー）

- ・橋本 禪：韓・日・米農村計画シンポジウム（韓国・パネリスト）、農村計画国際シンポジウム（日本・オーガナイザー）

国際共同研究・海外学術調査等

- ・日本における持続可能なルーラル・ツーリズムのあり方とその気候変動への対応策，星野 敏，オーストリア

外国人研究者の受入

- ・客員教授 1 名 （オーストリア）

B. 教育活動（2009. 4～2010. 3）

B-1. 学内活動

a) 開講授業科目（担当教員）

- ・全学共通科目： 生物圏の科学（星野）
- ・学部： 農村計画学（星野）、農地整備学（九鬼）、測量学（橋本）、農村整備計画演習（星野・九鬼）、測量法及び実習（橋本・九鬼）
- ・大学院： 農村土地利用計画論（橋本）、農村環境計画論（星野）、農村計画学演習Ⅰ（星野・橋本）、農村計画学演習Ⅱ（星野・橋本）、農村計画学実験（星野・橋本）

B-2. 学外における教育活動

公開講座等

- ・星野 敏：平成 21 年度農業農村整備計画セミナー，全国農村振興技術連盟，講演
- ・橋本 禪：第 1 回里山里海サブ・グローバル評価（SGA）勉強会，金沢大学，講演
- ・九鬼 康彰：平成 21 年度共生ゾーン制度説明会，神戸市，基調講演

B-3. 国際的教育活動

留学生・外国人研修員の受入

- ・留学生： 研究生等 3 名（中国 2、台湾 1）

C. その他

・星野 敏：農林水産省農村振興局農地・水・環境保全向上対策第三者委員会委員、農林水産省農村振興局農業農村整備における新たな施策評価手法検討委員会委員、滋賀県公共事業評価監視委員会委員、京都府農業農村整備事業の環境に係る情報協議会座長、京都府農と環境を守る地域協働活動支援委員会委員長、京都府農業会議専門員、京都府中山間ふるさと保全委員会委員、大阪府建設事業再評価委員会委員、神戸市都市計画審議会臨時委員、中山間地域フォーラム理事

・九鬼 康彰：兵庫県神戸地域農地・水・環境保全向上活動評価委員会委員、神戸市不耕作地対策委員会会長、神戸市人と自然との共生ゾーン審議会農村景観部会委員、神戸市環境保全審議会臨時委員